

「第6回奥州市民★文士劇『忠臣蔵—大石内蔵助は男でござる—』が2月1日、2日の両日、江刺体育文化会館ささらホールで上演されました。2日間で3回の公演に、約1600人の観客が会場へ詰め掛け、感動の舞台を楽しみました。

今回の文士劇は、映画やテレビドラマでも多く演じられ、皆さんにおなじみの「忠臣蔵」江戸城「松の廊下」で、赤穂藩主浅野内匠頭が吉良上野介を切りつけるという事件が発端のお話です。

その事件から1年9ヵ月後、浅野家筆頭家老の大石内蔵助は、主君の敵討ちを胸に秘めていた赤穂浪士と共に、吉良邸への討ち入りを決行。クライマックスの殺陣演技は見応え十分で、多くの観客を魅了しました。



1江戸城「松の廊下」で浅野内匠頭が吉良上野介に切りかかる 2赤穂藩の家臣たちは、報復を約束する血判状に署名 3昼あんどんやゆされ茶屋遊びにうつつを抜かしていた大石内蔵助だが、ついにあだ討ちを決意し、妻・りくと子どもたちに別れを告げる 4内匠頭の妻・瑤泉院は、内蔵助が浅野家の仏壇に置いた巻き物が血判状だと知り、その決意に心打たれる 5今回の文士劇で最大の見せ場。堀部安兵衛に切り倒された清水一角は、力尽き池に転落 6最後は内蔵助が上野介を倒し、敵討ちを成し遂げた赤穂浪士は「エイ、エイ、オー」と勝ち名乗り



平成25年度 成人式

二十歳の節目 志新たに

25年度成人式が1月12日、市文化会館（Zホール）で開催されました。出席した新成人は1,138人。新たな門出となったこの日、新成人は大人としての自覚と責任を持って、これからの人生を歩んでいくことを誓いました。

新成人が企画運営した記念行事「家族からの手紙、20歳からの手紙」では、新成人の家族が幼いころのエピソードなどを朗読。子を思う親の愛情あふれるメッセージに新成人は、感謝の気持ちを新たにしていました。



1真剣な表情で式典に臨む新成人 23新成人を代表して、誓いの言葉を述べた佐々木愛美さん（水沢区）と菊池瑠依さん（衣川区） 4司会進行の大役を務めた岩井里美さん（水沢区）と高橋将斗さん（衣川区） 5生演奏での調べにのせ、我が子へのメッセージを送る新成人の家族 67これまで育ててくれた家族への感謝の言葉をメッセージに

